

ユウ ヘイキヨウ

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Yoo BK, Goto R, Kitajima M, Sasaki T, Himmler S., 2024年05月, 英語, Willingness to pay for nationwide wastewater surveillance system for infectious diseases in Japan, 査読あり, Environmental Science: Water Research & Technology, 2025 Vol. 11, 29-38, 10. 1039/d4ew00332b, 掲載誌は英国Royal Society of Chemistryが出版. 当該号のinside front coverに選出. Attention Score <https://www.altmetric.com/details/164872146/news> は 102 (全世界でTop 5%; 論文掲載前後の6週間ではTop 2%以内) で, Eurekalert <https://www.eurekalert.org/news-releases/1051544> など国内外13メディア (2025年4月10日現在) に被掲載.

3. その他の著作

- 1) Yoo ByungKwang, 2024年05月, 社会保障・社会福祉こそ経済政策のかなめ: 日本再生のための「プラン B」とは, 福祉のひろば/総合社会福祉研究所 編, 2024年5月号, p. 40-45
- 2) Yoo ByungKwang, 2024年07月, 医療経済学による下水疫学の評価—下水疫学最前線の6人が斬る! イノベーションと社会実装の課題, 月刊下水道, 47巻9号, p. 70-72

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県庁, 新型コロナウイルス・パンデミック関連政策のアドバイザー, 2020年4月
- 2) 神奈川県下水道疫学研究会, 会長, 2021年, 2021年に創設, 2021年12月20日に第1回の会議を実施. 2024年度からは隔月で研究会を主宰.

6. 社会貢献

- 1) ワークショップのテーマに, 外国にルーツがある方の医療へのアクセス障害を含める新しいプログラムを協同開発したカリフォルニア大学のRossini准教授を, 日本学術振興会の外国人招へい研究者として (兼任・本務校の) 早稲田大学にて招聘. , 日本学術振興会の招へい期間: 2024年5月10日から6月10日Rossini准教授による講演・ワークショップ: 招聘期間中に6回実施し, SHIでは5月25日 (土) に実施した. その後, 実践教育センターにおいて10月1日 (火) にも同様のワークショップを実施した. , 項目11の2でも報告

7. 講演, 放送

- 1) 神奈川県保険医協会第69回定時総会 (記念講演), 2024. 6. 16, テーマ: 「なぜ日本再生のために「プランB」が必要か」
- 2) 第24回阪大整形外科開業医会 (講演), 2024. 7. 20, テーマ: 「プランBはなぜ必要か?」

- 3) 佐久総合病院グループ主催第63回農村医学夏季大学講座（講演）, 2024. 7. 26, テーマ：「医療が地域再生の中心になる経済学的理由 ～世界最高健康都市構想実現のために～」
- 4) 一般社団法人日本下水サーベイランス協会主催「JWWSA第3回講演会ーポストコロナ社会における下水サーベイランスの活用と全国展開に向けてー（講演）, 2024. 8. 2, テーマ：「医療経済学的観点から見た下水サーベイランスの費用便益効果」
- 5) 第29回社会福祉研究交流集会in関東（講演（特別講師））, 2024. 9. 1, テーマ：「特別講座：社会福祉の悩みの新たな対処法～マクロ経済から現場の悩みまで」
- 6) ME-BY0サミット神奈川2024：セッション(9)いのち輝く．楽しく未病改善！～未病とエンタメの可能性～（セッションパネリスト）, 2024. 11. 8, 未病改善の実証事業の一例ともいえる，健康教育（演劇的な手法を用いて生活習慣の改善を目指す）の紹介と知事との即興劇を実演（モデレーター：黒岩祐治神奈川県知事，他のパネリストは古谷田力大和市長，宮田裕章慶應義塾大学教授，横田和弘横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」プロジェクトリーダー）. https://www.kuhs.ac.jp/cip/news/details_02803.html

9. 学内教育活動

- 1) 大学院ヘルスイノベーション研究科博士前期課程・博士課程

Health Education Theater（健康教育劇場）, 2024年度秋学期, 講義は全て英語で実施, 90分の講義15回を根本裕太講師と担当.

10. 学内各種委員会活動

- 1) SHI入試委員会, 2021年4月ー現在

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 神奈川県庁健康医療局, 代表者, ユウ ヘイキョウ, 特定保健指導実施率向上実証事業, 1, 472千円, 2024年4月1日, 2025年3月31日
- 2) 日本学術振興会 令和6（2024）年度外国人招へい研究者（短期第1回）, 代表者, ユウ ヘイキョウ, 健康教育劇場, 726千円, 2024年5月10日, 2024年6月10日, カリフォルニア大学デービス校の演劇学部よりJon D. Rossini教授を招聘. Rossini教授の滞日時に, 講演・ワークショップ（およびワークショップの効果を評価するためのアンケート調査）を6回（兼任先の早稲田大学内で4回）実施. SHIでは5月25日（土）に実施した. その後, 実践教育センターにおいて10月1日（火）にも同様のワークショップを実施した.

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター研究費, 代表者, ユウ ヘイキョウ, 新型コロナウイルス・パンデミックの公衆衛生対策, 37, 600千円, 2024年4月1日, 2025年3

月31日

- 2) 神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター研究費, 代表者, ユウ ヘイキョウ, 予防医療教育プログラムの開発と評価, 7, 500千円, 2024年4月1日, 2025年3月31日

15. その他

- 1) [学外委員会活動 (兼任先)] 早稲田大学学術誌編集委員 (2024年4月—現在)
- 2) [学外教育活動 (兼任先)] 「専門ゼミ I / II (医療評価科学)」 (早稲田大学人間科学学術院人間科学部 2024年 春学期/秋学期)
- 3) [学外教育活動 (兼任先)] 「予防医療の科学的意義」 (早稲田大学人間科学学術院人間科学部), 100分の講義14回を単独で担当, 2024～2025春学期
- 4) [学外教育活動 (兼任先)] 「人間科学研究倫理特論 (D)」 (早稲田大学人間科学学術院大学院人間科学研究科), 2024年 夏季集中 (共同担当)
- 5) [学外教育活動 (兼任先)] 「カーボンニュートラル社会に向けた社会科学入門 (ライフ) (早稲田大学グローバルエデュケーションセンター), 2024年 秋クォーター
- 6) [学外教育活動 (兼任先)] 「健康教育の理論と実践」 (早稲田大学人間科学学術院人間科学部), 100分の講義14回を単独で担当, 2024～2025秋学期
- 7) [学外教育活動 (兼任先)] 「予防医療の科学的意義」 (早稲田大学人間科学学術院人間科学部 (通信教育課程)), 100分の講義14回を単独で担当, 2024～2025秋学期
- 8) [学外教育活動 (兼任先)] 「ヘルスエヴァリュエーションサイエンス特論」 (早稲田大学人間科学学術院大学院人間科学研究科), 100分の講義7回を単独で担当, 2024～2025秋学期
- 9) [その他の活動・メディア掲載等] 「新型コロナウイルス・パンデミックの公衆衛生対策プロジェクト」, 神奈川県内の下水処理場で実施している定期的なサンプリングと下水検査結果 (下水中のウイルス濃度, 変異株の存在割合) について, 神奈川県庁のホームページで公表 (2021年11月調査開始時より継続), ・新型コロナ・下水疫学調査について
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/simulation.html> ・新型コロナ
・予測モデルによる重症者数等シミュレーション https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/simulation_model.html
- 10) [その他の活動・メディア掲載等] “早大・神奈川県立保健福祉大・東大, 下水サーベイランス制度に対する住民の「支払い意思額」を推定,” 日本経済新聞, https://www.nikkei.com/article/DGXZRSP673862_X20C24A600000/ (2024年6月27日)
- 11) [その他の活動・メディア掲載等] “「下水疫学」コロナ流行で注目 病原体から感染症把握 コスト抑え正確に,” 朝日新聞, <https://www.asahi.com/articles/DA3S15981368.html> (2024年7月12日)
- 12) [その他の活動・メディア掲載等] “<新型コロナ>早期発見へ 下水中のウイルス検査 1世帯あたり年800円なら負担許容,” 東京新聞, <https://www.tokyo-np.co.jp/article/341261> (2024年7月20日)

- 13) [その他の活動・メディア掲載等] “下水サーベイランスにあなたはいくらまで払うか？, 早稲田大などが調査,” 日経バイオテク, <https://bio.nikkeibp.co.jp/atcl/news/p1/24/08/07/12234/> (2024年8月9日)
- 14) [その他の活動・メディア掲載等] 発表論文 (Yoo et al (2025), Environmental Science : Water Research & Technology) のAttention Scoreは 102 (全世界でTop 5%; 論文掲載前後の6週間ではTop 2%以内) で, Eurekalert <https://www.eurekalert.org/news-releases/1051544> など国内外13メディア (2025年4月10日現在) に被掲載.